

The cover features a white triangular area on the left containing the title. The background is a composite of a blue sky with white clouds and a green field, and a close-up of vibrant green leaves.

Sustainability Fact Book 2024

MTG

目次

- ✔ 編集方針
 - －考え方
 - －コミュニケーションマップ
- ✔ トップメッセージ
- ✔ サステナビリティ方針
- ✔ サステナビリティ推進体制
- ✔ マテリアリティ
 - －特定プロセス
 - －マテリアリティ（重要課題）
 - －取り組み内容と指標
- ✔ 各取り組み内容
- ✔ APPENDIX
 - －SDGs目標とESG対応



基本的な考え方

株式会社MTGは、企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」の実現を目指し、環境・社会課題の解決に向けた企業活動に取り組んでいます。

ステークホルダーの皆さまに、当社のサステナビリティへの様々な取り組みについてご理解を深めていただくために、サステナビリティファクトブックにて、方針、体制、マテリアリティから具体的な取り組みまで、包括的にご紹介しています。

対象期間

2024年9月期（2023年10月1日～2024年9月）の実績を中心とし、2024年9月期以外の内容も一部掲載しています。

報告対象範囲

株式会社MTG単体、連結子会社、およびその他グループ会社の事例。

報告サイクル

年次発行として毎年発行。

コミュニケーションマップ

財務情報

IR
Webサイト

<https://www.mtg.gr.jp/ir/>

決算短信

<https://www.mtg.gr.jp/ir/library/material.html>

有価証券報告書

<https://www.mtg.gr.jp/ir/library/securities.html>

財務・業績データ

<https://www.mtg.gr.jp/ir/finance/>

非財務情報

サステナビリティ
Webサイト

<https://www.mtg.gr.jp/sustainability/>

コーポレート
ガバナンス報告書

<https://www.mtg.gr.jp/ir/management/governance.html>

サステナビリティ
ファクトブック

トップメッセージ

**企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」の実現を目指し、
環境・社会課題の解決に向けた企業活動に取り組むことで
持続可能な社会へ貢献していきます。**

代表取締役社長
サステナビリティ委員長
松下 剛

当社グループは、企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」の実現を目指し、環境・社会課題の解決に向けた企業活動に積極的に取り組むことで持続可能な社会へ貢献していきます。

気候変動やそれに伴う自然災害、資源問題や地政学リスクの拡大など急激な環境変化、危機の発生が、日本や世界の経済に大きく影響を与えています。その一方で、持続可能な社会を目指す脱炭素化、人権問題への取り組みなど、企業の社会的な責任はより一層求められています。

当社グループのサステナビリティ活動は、企業理念を軸としたサステナビリティ基本方針に則り、国連の持続可能な開発目標（SDGs）等を参考に16のマテリアリティ（サステナビリティにおける重点課題）を特定、それぞれの重要課題へのアクションプラン（取り組み）を設定しています。

これら重要課題に対する取り組みは、私自身が委員長を務めるサステナビリティ委員会の中で、役員同席にて進捗確認を行い、その内容を取締役に報告しています。実効性のある体制とともに、サステナビリティに向けた取り組みを推進してまいります。

当社グループは、企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」のもと、事業ビジョンに掲げる“VITAL LIFE”世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現に向けた事業活動を通して、持続可能な社会を目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



サステナビリティ方針

当社グループでは、企業理念として「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」を掲げております。この企業理念をサステナビリティに関する基本方針の柱とし、サステナビリティ活動を推進しております。

「一人ひかる」を従業員の素晴らしい人生を実現することを目的とし、従業員一人ひとりが夢を持ち、明るく前向きにひかり輝く素晴らしい人生を歩むことを、「皆ひかる」では、事業活動を通じた社会への貢献のため、MTGが提供する商品やサービスを通じ、世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現を、そして「何もかもひかる」では、地球環境への配慮と保全に向けて、持続可能な地球環境への配慮はもちろん、人類社会の発展に貢献することを目指しております。

またコーポレートガバナンス、コンプライアンスやグループ経営に関する体制、その取り組みについては、持続的な成長を支える仕組みとして方針に含めております。

「一人ひかる」

従業員の
素晴らしい人生の実現

従業員一人ひとりが夢を持ち、明るく前向きにひかり輝く素晴らしい人生を歩むことを目指します。

「皆ひかる」

事業活動を通じた
社会への貢献

MTGが提供する商品やサービスを通じ、世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現を目指します。

「何もかもひかる」

地球環境への
配慮と保全

持続可能な地球環境への配慮はもちろん、人類社会の発展に貢献することを目指します。

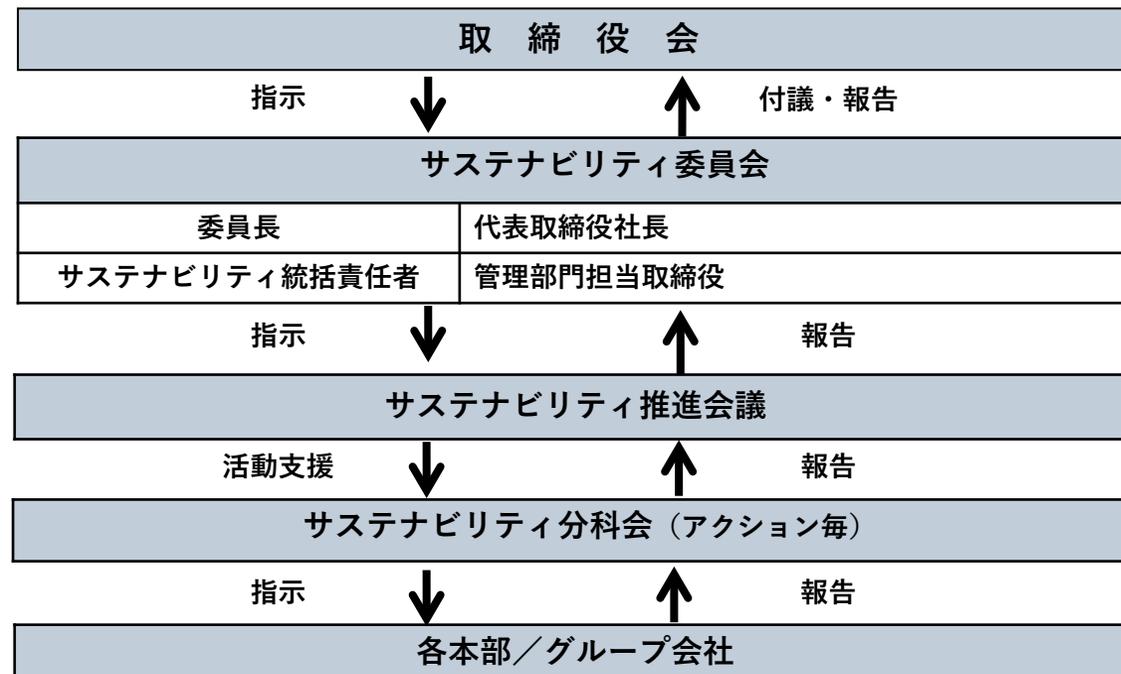
持続的な成長を支える仕組みの構築

サステナビリティ推進体制

サステナビリティを経営の中核に置き、中長期的な企業価値向上へグループ全体で横断的に推進するため、2024年8月に「サステナビリティ委員会」を設置いたしました。

取締役会がリスクや機会を含むサステナビリティに関する監督の責任を持ち、そのもとで代表取締役社長、管掌役員及び配下の各組織体が業務遂行を担っております。「サステナビリティ委員会」では、気候変動をはじめとした環境課題に関するグループ全体の対応方針・取り組みについて、目標に対する進捗管理や評価を行い、取締役会が監督およびモニタリング機能を果たし、対応の指示や戦略への反映を行っております。「サステナビリティ委員会」は、半期毎に年2回開催、取締役会へ年2回付議・報告しております。取締役会が監督及びモニタリング機能を十分に果たすために、取締役会で決議する方針、戦略に関する事前審議のほか、目標に対する進捗管理や評価、個別施策の審議などを行っております。

2024年9月期は、「サステナビリティ委員会」の設立、マテリアリティの特定、TCFDに基づく情報開示の充実化について、取締役会に付議・報告いたしました。



マテリアリティの特定プロセス

様々な社会課題の中で、当社グループが対処すべき項目について、全社で議論を重ね、重点課題（マテリアリティ）を設定しております。

STEP1 社会課題の抽出

「SDGs」やグローバルリスク報告書等の社会動向が当社グループに与える影響を分析、さらに、株主・投資家様、お客様、お取引先様及び従業員をはじめとするステークホルダーの皆様との対応を通して、期待や要請などを様々な視点から検討、抽出いたしました。

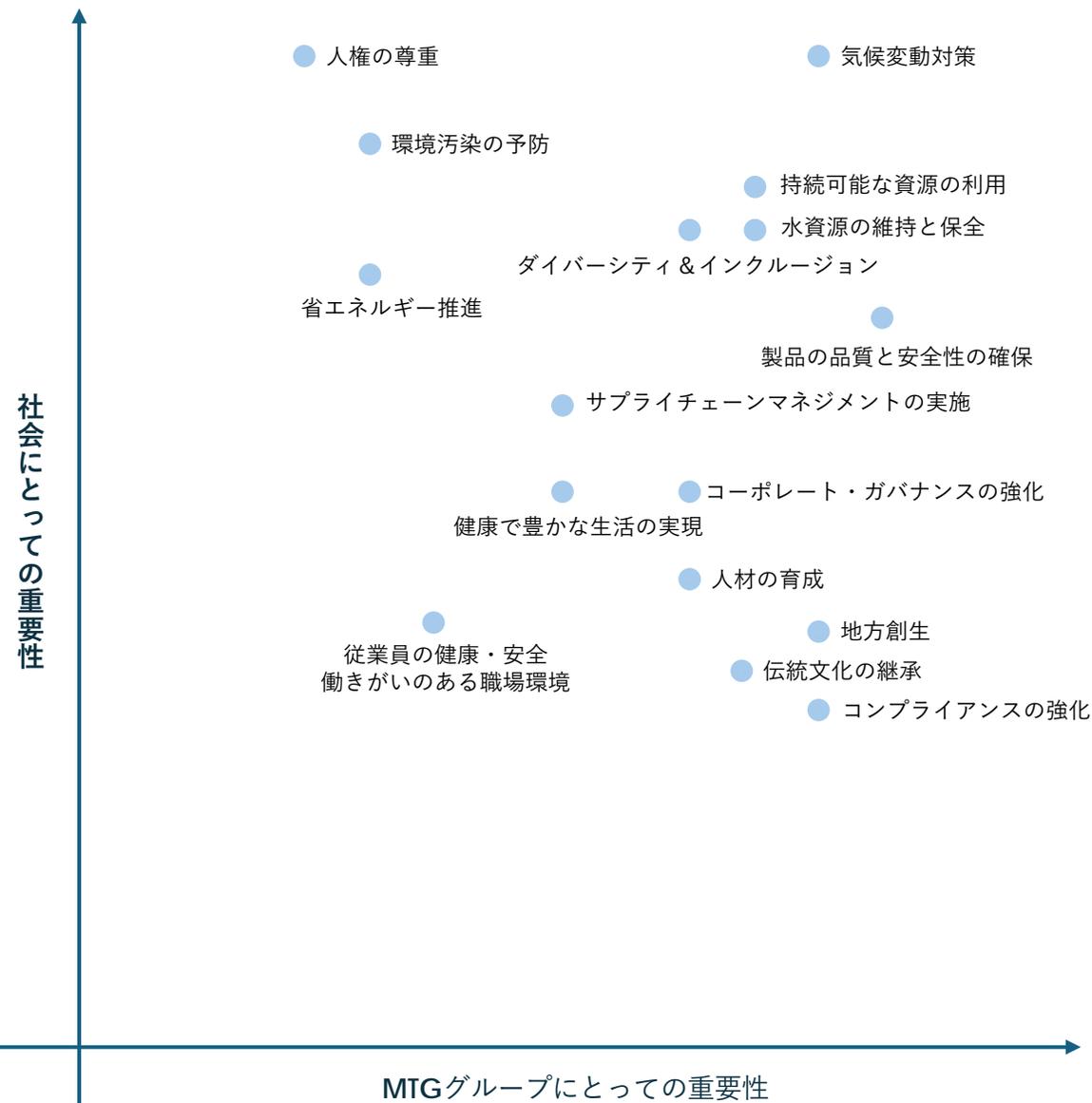
STEP2 推進部門及び担当役員による議論

サステナビリティ推進部門が社会にとっての影響と当社グループへの影響の観点から、各課題を評価・採点し、優先順位付けを実施、その内容について担当役員との議論を重ね、重点課題を整理いたしました。

STEP3 取締役会での決議

2024年8月度の取締役会にサステナビリティ推進部門より整理した重点課題を上程し、決議されました。そして、具体的なアクションプランを立案し、2025年3月に当社のサステナビリティ活動として開示いたしました。

マテリアリティ特定図



マテリアリティ（重要課題）

「一人ひかる」 従業員の素晴らしい人生の実現

- ・ダイバーシティ & インクルージョン
- ・人材の育成
- ・従業員の健康・安全、働きがいのある職場環境

「皆ひかる」 事業活動を通じた社会への貢献

- ・製品の品質と安全性の確保
- ・サプライチェーンマネジメントの実施
- ・健康で豊かな生活の実現
- ・人権の尊重
- ・伝統文化の継承
- ・地方創生

「何もかもひかる」 地球環境への配慮と保全

- ・気候変動対策
- ・環境汚染の予防
- ・省エネルギー推進
- ・持続可能な資源の利用
- ・水資源の維持と保全

持続的な成長を支える 仕組みの構築

- ・コーポレート・ガバナンスの強化
- ・コンプライアンスの強化



マテリアリティに関する取り組み内容と指標

マテリアリティ	アクションプラン	取り組み内容	指標
■ 「一人ひかる」 従業員の素晴らしい人生の実現			
<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ & インクルージョン ・人材の育成 ・従業員の健康・安全、働きがいのある職場環境 	①女性活躍、多様性の推進	働きやすい制度の整備と活躍機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職比率 ・男性育休取得率
		やりがいのある職場環境を整備	・障がい者雇用比率
	②人材育成とキャリア開発の実践	人材育成とキャリア開発の実践	－
	③経営者意識を持つ人材の育成	経営者意識を持つ人材の育成	－
	④健康経営の取り組み	心と体の疾病予防・早期発見・早期治療サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健診再検査対象者数 ・ストレスチェック
■ 「皆ひかる」 事業活動を通じた社会への貢献			
<ul style="list-style-type: none"> ・製品の品質と安全性の確保 ・サプライチェーンマネジメントの実施 ・健康で豊かな生活の実現 ・人権の尊重 ・伝統文化の継承 ・地方創生 	⑤製品の品質と安全性の確保	品質向上・製品の安全性確保	－
	⑥人権の尊重	RSPOパーム油の利用	・RSPO比率
	⑦健康で豊かな生活の実現	地域・社会への健康向上支援	－
	⑧地域社会の活性化と伝統文化の保護・継承	五島を中心とする地域活性化	－
		寄付活動の実施	－
		伝統工芸技術の活用	－
■ 「何もかもひかる」 地球環境への配慮と保全			
<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動対策 ・環境汚染の予防 ・省エネルギー推進 ・持続可能な資源の利用 ・水資源の維持と保全 	⑨地球環境の負荷軽減	温室効果ガス排出削減（Scope1-3）	・二酸化炭素排出量
	⑩自然保護への取り組み	自社農園における椿の植栽による自然保護	・植栽本数
	⑪水資源の維持と保全	ファインバブルによる排水量削減	－
	⑫責任ある調達	RSPOパーム油の利用	・RSPO比率
■ 持続的な成長を支える仕組みの構築			
<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・ガバナンスの強化 ・コンプライアンスの強化 	⑬コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス体制の強化	コーポレートガバナンスコードへの対応	－
	⑭部門採算をベースにした、経営方式の実践	グループ（ユニット）経営	－

① 女性活躍、多様性の推進

一人ひかる 女性の活躍推進



KPI	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期	2027年 目標
女性管理職比率	9.3%	10.9%	11.7%	15%
男性育休取得率	21.4%	15.4%	48.5%	100%

働きやすい制度の整備と活躍機会の創出

当社グループの主要な事業を営む(株)MTG、(株)MTGプロフェッショナル及び(株)MTG FORMAVITAの3社における従業員の56.2%が女性であることから、「女性の活躍推進」はグループ全体の成長に繋がる重要なテーマと位置づけ、男女問わず働きやすい制度の整備と活躍機会の創出に取り組んでおります。

■ 働きやすい制度の整備

男女問わず、ライフステージに合わせた働き方が実現できるよう、年次有給休暇、育児・介護休暇や短時間勤務制度など各種制度を整備しております。

■ 女性社員の活躍機会の創出

営業・店舗など幅広い職種で、女性がグループリーダー（係長級）、店長として活躍しております。今後、より多くの女性が管理的立場の役割を担えるよう、グループリーダー研修・課長研修、女性従業員の上司向け研修を実施していきます。

※(株)MTG、(株)MTGプロフェッショナル及び(株)MTG FORMAVITAの集計値を使用

① 女性活躍、多様性の推進

一人ひかる

外国人・障がい者雇用

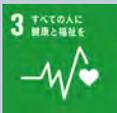


》》 やりがいのある職場環境を整備

屋内に設置した植物装置付きの栽培室内で障害のある社員が、ハーブを栽培し、収穫した作物はハーブティーに二次加工します。名古屋本社と、東京支社の給湯箇所にて、社員がハーブティーを自由楽しめるよう、川越ファームのハーブティーを、社内の福利厚生として無料で提供しています。

また、現在外注している業務の内製化や、専門業務チームの編成を進めることで、更にやりがいのある職場環境を実現し、2024年9月期時に2.36%の障がい者雇用比率を2027年には2.7%まで引き上げることを目指します。※(株)MTGのみ

また、外国籍の社員については、当社グループ全体で9か国、直雇用社員の外国籍比率は6.6%をしめております。今後も引き続き多様性推進に努めていきます。



3

すべての人に
健康と福祉を



4

質の高い教育を
みんなに



8

働きがいも
経済成長も

② 人材育成とキャリア開発の実践

一人ひかる 人材育成とキャリア開発の実践



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう

▶▶▶ 従業員の自律的な能力開発を支援

■ 階層別・年次別研修の実施

新卒および中途入社者の早期定着と活躍を推進するための入社時研修や職場を巻き込んだオンボーディング研修に加え、年次別研修、管理監督者・グループリーダー向けのマネジメント研修等の学びの場を提供し、従業員一人ひとりが挑戦し続ける環境づくりをしております。

■ 光フィロソフィ共育会の実施

従業員一人ひとりの物心両面の幸せや健全な企業風土の実現を目指し、当社グループが大切にしている考え方（光フィロソフィ）を雇用形態や役職に関係なく学び合う機会を定期的に設けております。

■ キャリア形成支援

従業員の自律的なキャリア形成・能力開発を加速するため、部門別のスキルを可視化したスキルマップの作成を進めています。各自の担当業務に必要なスキルとそのレベルが分かることで、個人の「なりたい姿」を自らが描き、主体的な学びの機会が創出できるようにサポートしていきます。

③ 経営者意識を持つ人材の育成

一人ひかる 経営者意識を持つ人材の育成



▶▶▶ 経営情報に触れる機会を通じ、全員経営につなげる

■ グループ経営方式の実践

当社グループでは、組織を細かな経営ユニットに分け、各ユニットの損益を明確にすることで、従業員が自組織の採算を向上させるための改善意識・行動を促す「グループ経営方式」をとっております。また、役員陣から事業採算等を問われる月1回の検討会を開催し、リーダーの経営力向上に努めております。

■ 経営方針発表会の実施

経営者のメッセージや経営方針について、従業員一人ひとりが自分事に捉えられるよう、全従業員が参画する全社経営方針発表会や、全社方針を受けた本部毎の方針発表会を実施し、経営者・リーダーの方針に触れる機会としております。

■ リーダー層向け勉強会の実施

課長以上の全リーダーを対象に、真の経営者になるための勉強会を定期的に行っております。社長自らが講師となってリーダーに直接指導し、組織・事業の戦略・ビジョンの描き方、メンバーとの信頼関係の築き方などを題材に経営力を高める場としております。

④ 健康経営の取り組み

一人ひかる 心と体の疾病予防・早期発見・早期治療サポート

KPI	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期	2027年 目標
定期健康診断 再検査対象者 ^(※1)	17.1%	13.4%	13.6%	11.4%
ストレスチェック 総合健康リスク	75	76	75	80以下

※(株)MTGのみ

▶▶▶ 従業員の心と身体の疾病を予防

■ 健康診断再検査の推進

産業保健スタッフによる受診勧奨で医療機関への適切な受診を促進、早期の疾病発見及び治療を図るとともに、特定保健指導や情報提供を活用、生活習慣の改善及び行動変容を推進しております。

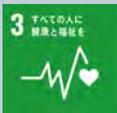
■ がん検診の支援

定期健康診断と併せて、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、乳がん、子宮頸がんなどの各種がん検診を全額補助により実施、従業員の健康維持と早期発見・治療を支援しております。

■ メンタルヘルス支援の強化（ストレスチェックの活用）

総合健康リスクを求める尺度のうち、量的負担は高い数値である一方、職場の支援が良好に機能しています。今後も現在の水準を維持するために集団分析を活用し、ラインケアを通じて職場全体でのメンタルヘルス支援を強化してまいります。

(※1) 再検査対象項目： 血圧、血液検査/一般・肝機能・腎機能・尿酸・脂質・糖代謝、尿検査、心電図、胸部レントゲン、内科診察



⑤ 製品の品質と安全性の確保

皆ひかる 品質向上と製品安全の確保

▶▶▶ 品質向上と製品安全の確保に向けた活動を実践

MTGでは、開発品質及び製品安全を確保するために、開発、品質保証含め関係部署で、過去ノウハウやリスク評価の結果を反映し、企画構想、量産設計、設計検証、製造準備、量産の各ステップごとにデザインレビュー、評価検証を実施しております。

製造品質を確保するために、製造パートナーの現場巡回を行い、課題の抽出及び品質管理レベルの底上げを実施、また、是正・再発防止のために、不良・クレーム情報を収集分析し、真因の特定及び再発防止を徹底して行っております。

最後に、お問い合わせやアンケートより頂いたお客様の声を、開発部門及び開発製造パートナーへフィードバックすることで、市場の声を商品に反映しております。

上記施策を通して、商品の品質の向上及び安全性の確保に努めてまいります。



皆ひかる

人権配慮資源の使用

何もかもひかる

責任ある調達の推進

▶▶▶ RSPOの活動支援、人権配慮資源の使用及び責任ある調達を推進

化粧品などの原料として大切な役割を果たす「界面活性剤」という成分は、アブラヤシからとれるパーム油から作られます。それに伴い、アブラヤシ農場の開発に伴う熱帯雨林の伐採や人権問題が課題となっており、持続可能な責任ある調達、人権への配慮が求められています。その中で貴重な熱帯雨林の破壊がこれ以上進まないようにつくられたのが、RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議：Roundtable on Sustainable Palm Oil）と呼ばれる国際組織です。

当社グループでの現状（2024年9月期）のパーム油使用量の概算は約76tとなっております。今後、**RSPOのSupply Chain Associate Member**（準会員クラス：年間使用量が500トン以下）及び**Green Palm**会員への登録を行い、当社使用相当分についてブックアンドクレーム方式※での認証油調達を進めてまいります。

上記活動を通して、2027年**RSPO**パーム油の使用割合を、現状の**0%から40%へ引き上げる**ことで、人権配慮資源の使用、責任ある調達を推進してまいります。

※ブックアンドクレーム方式：RSPOにより認証された生産者が生産した認証油に、認証クレジット（証券）を発行。その認証クレジットを購入することで、認証パーム油の生産者を支援する仕組み。



皆ひかる 地域・社会への健康向上支援



大学・企業・自治体と協力、地域社会の健康向上を支援

愛知県豊田市と介護予防事業「ずっと元気！プロジェクト」に、中部電力株式会社を代表とする事業者グループの一員として参画し、豊田市の高齢者を対象に、EMSで歩くときに使う足の筋肉をトレーニングする「SIXPAD Foot Fit Lite（シックスパッドフットフィットライト）」と、座りながら全身運動ができる「すわトレ」DVDを、1年間無償で提供し、2か月に1回測定会を実施し、参加者の各種体力状態や健康状態を測定いたしました。人々の健康・美容の増進、QOL(生活の質)の向上を目的とする機械器具として認定されております。
(一部商品)

上記取り組みを経て、今後は自治体のみでなく、大学や企業とも協力し、地域・社会への健康向上支援を実施していく予定です。

将来的に「健康増進イベント数」や当該イベントへの「参加人数」を増やし、参加者の「筋肉量の増加」に努めてまいります。

皆ひかる

寄付活動の実施

▶▶▶ 世界中の人々がよりVITALな社会生活を営むことへの支援へ寄与

活動事例としましては、

2024年8月 高機能除菌水生成器「e-3X」を愛知県あま市、あま市社会福祉協議会、
石川県珠洲市 社会福祉協議会へ寄付

2023年9月 高機能除菌水生成器「e-3X」を子ども食堂へ寄贈

を実施しております。

今後も、被災地、地域を中心とした社会福祉施設など寄付
先の方々のニーズに応じた自社製品の寄付活動を通じて、
事業ビジョン

“VITAL LIFE”～世界中の人々の健康で美しく生き生きと
した人生の実現～を支える、支援を続けてまいります。



皆ひかる 伝統工芸技術の活用



》》》 「ブランド×伝統技術」のコラボレーションの推進

日本が誇る素晴らしい伝統技術と伝統産業を活用した商品のデザインや素材を取り入れ、国内外に向けて発信していきます。伝統工芸技術の価値を紡ぎ続け、ブランドとの融合による新たな顧客層の開拓にもつなげています。

伝統技術とブランドのコラボレーションとして、京都の伝統産業を代表とする【漆塗り】の技術を取り入れた「ReFa HEART KYOYO」を商品化しました。本商品は、京都市ふるさと納税返礼品に採用され、自社オンラインショップなどで販売されています。また、地方独立行政法人京都市産業技術研究所の協力を得て、漆塗りの取り組み先パートナーとのマッチングが実現しました。また、100%天然猪毛ブラシ「ReFa BRISTLE OAK」では、ブラシのスタンドに真鍮を採用し、富山県高岡市の伝統工芸技術の一つでもある高岡銅器の【鑄造技術】を用いて製作しました。そしてブラシのハンドルは天然木を用い、木の特性を生かした切削や貼り合わせなどの【木工技術】で加工製造された商品を開発しました。本商品も自社オンラインショップや免税店などで販売しています。

日本の伝統工芸である【漆塗り】【鑄物】【木工】【螺鈿細工】などといった職人技術とコラボレーションし、日本独自の”美”の価値を発信しています。「伝統の技巧が暮らしに溶け込むという贅沢」を感じていただける商品開発を、今後も進めてまいります。

皆ひかる

五島の椿事業による地域活性化



五島の地域資源である椿を活用した産業を育成

グループ会社「五島の椿株式会社」においては、長崎県五島列島に古来、自生する五島椿を活用した事業展開を行っています。花や種といった、年に一度の収穫時期に限られたものだけでなく、葉、枝、果皮、そして椿の花から取り出した「椿酵母」を使用した製品開発を行っています。また、五島列島の歴史、文化に至るまで、あらゆる側面から調査・研究を実施し、知られざる力を発見することで、新たな事業創発を目指しています。

過疎化と高齢化が進む五島列島において、五島の椿の価値を高め、広く知っていただき、椿を生かした産業育成に取り組むことで、五島市での雇用を増やし、列島全体の活性化を継続的に支援していきます。

五島の椿事業による地域活性化をロールモデルとして、今後日本の様々な地方産業の可能性を切り拓いてまいります。

⑨ 地球環境の負荷軽減

何もかもひかる

温室効果ガスの排出削減（Scope1-3）

KPI	2023年 9月期	2030年 目標
総排出量 (tCo2e)	1,182	686
Scope1 (tCo2e)	185	107
Scope2 (tCo2e)	997	578

温室効果ガス (Scope1及び2) の積極的削減への取り組み

持続可能な社会の実現に向けて、当社グループにおいても気候変動関連の課題解決は最重要課題と考えております。長期的な視点で想定される機会とリスクを考慮し、気候変動問題への対応を進めてまいります。

気候関連リスク・機会を管理するための目標についてはSBT（Science Based Targets）を参考に、中長期的な温室効果ガス排出量削減を目指して、温室効果ガス（Scope1及び2）排出量削減目標を設定いたしました。温室効果ガス（Scope1及び2）は、2023年度を基準年とし、2030年度までに42%削減を目指しております。

今後は、温室効果ガス（Scope3）の把握とともに、再生可能エネルギー由来電力の導入など温室効果ガス（Scope1及び2）の削減へ積極的に取り組みを進めてまいります。

TCFD提言に基づく開示：

<https://www.mtg.gr.jp/sustainability/initiatives/environment/tcfdf/>



グループ会社「五島の椿株式会社」においては、事業活動に使用する電力について、島の浮体式洋上風力発電によるクリーンエネルギーを使用することにより、二酸化炭素の排出量削減（オフセット）に積極的に貢献してまいります。

写真提供：五島市

⑩ 自然保護への取り組み

何もかもひかる

五島の椿の保全



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう

指標	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期	2027年 目標
椿の植栽及び配布本数	100	100	200	300

》》》 自社農園における椿の植栽による自然保護

グループ会社「五島の椿株式会社」では、長崎県五島列島に4ヘクタールの農園を所有しており、1万本の椿を管理しています。その椿由来のスキンケア商品や食品の企画製造販売に取り組むことで、島の大切な資源である椿の維持活動に取り組んでいます。

自社農園では、五島の椿の保全、農園での椿の植栽活動及び椿苗木の配布による植栽推進を実施し、現存する椿の木の維持管理のみでなく、次世代に、より豊かな五島列島の自然を引き継ぐために、積極的に新たな植栽を進めております。

何もかもひかる ファインバブルによる水資源の保全、排水量削減



社会の水資源の保全とCO2の排出量を削減

節水機能を持つファインバブルシャワーヘッドの累計出荷台数は200万台を超えております。最新機種であるファインバブルUを使用※1した場合、通常のシャワーと比較して約30%の節水効果があり、それによりガスの使用量も削減されることからCO2排出量の削減にもつながります。今までに出荷されたすべてのファインバブルシャワーが各ご家庭で使用されますと、その節水効果は1年間でプール13万杯以上※2にもなります。今後もファインバブルシャワーの普及を通じて水資源の保全とCO2排出量削減に努めてまいります。

また一般社団法人ファインバブル産業会（FBIA）設立時よりの正会員（理事会社）として積極的に情報を発信し、ファインバブル技術の認知に貢献してきました。FBIA加盟の企業として、ファインバブル※3の力をより多くのステークホルダーに知って頂き、人々のよりいきいきとした人生の実現に貢献したいという想いから、ファインバブル技術の可能性、魅力を発信するサイトも設立。その技術を活用した製品の開発だけではなく、同サイトを通じ、積極的に情報を発信しています。

※1 ReFa FINE BUBBLE U：ミスト30%、ピュアストレート10%、ストレート50%、ポイントジェット10%として計算 ※2 1世帯における節水量×累積販売台数（1人あたりのシャワー使用時間6分、シャワー流量12L/分、国内平均世帯人数2.23人、ファインバブルUの1回のシャワーでの節水量で計算）

※3 ファインバブルの性能についてはReFa公式ブランドサイトを参照ください。

⑬ コーポレートガバナンス、コンプライアンス体制の強化

仕組み コーポレート・ガバナンス体制の強化

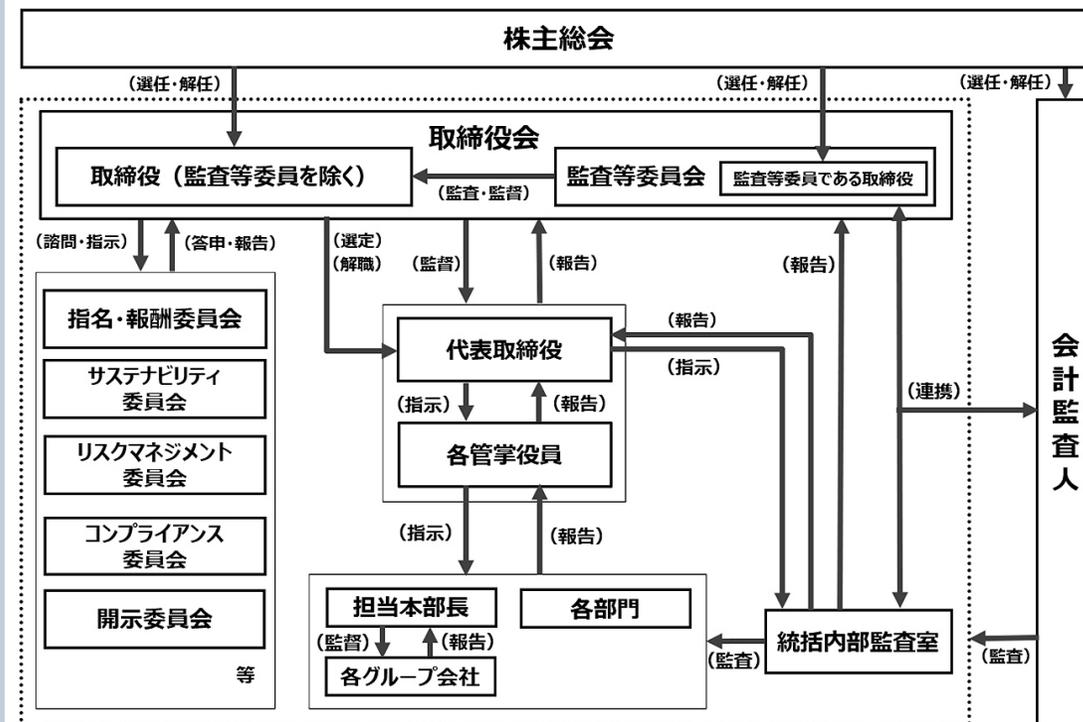
透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行う仕組みを構築

■ コーポレートガバナンス・コードへの対応及び対応状況の開示

当社は企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」に基づき、持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図る観点から、コーポレート・ガバナンスの強化を企業経営の重要課題の一つと位置づけ、取り組んでおります。コーポレートガバナンス・コードへの対応については、東証グロース市場の上場会社に適用される基本5原則を全て実施しております。今後も、コーポレート・ガバナンス体制及びコーポレートガバナンス・コードへの対応状況に関する定期的な点検及び制度の適宜見直しを実施して参ります。



コーポレート・ガバナンス体制図



⑬ コーポレートガバナンス、コンプライアンス体制の強化

仕組み コンプライアンス体制の強化

コンプライアンスを推進する風土の醸成と体制の整備

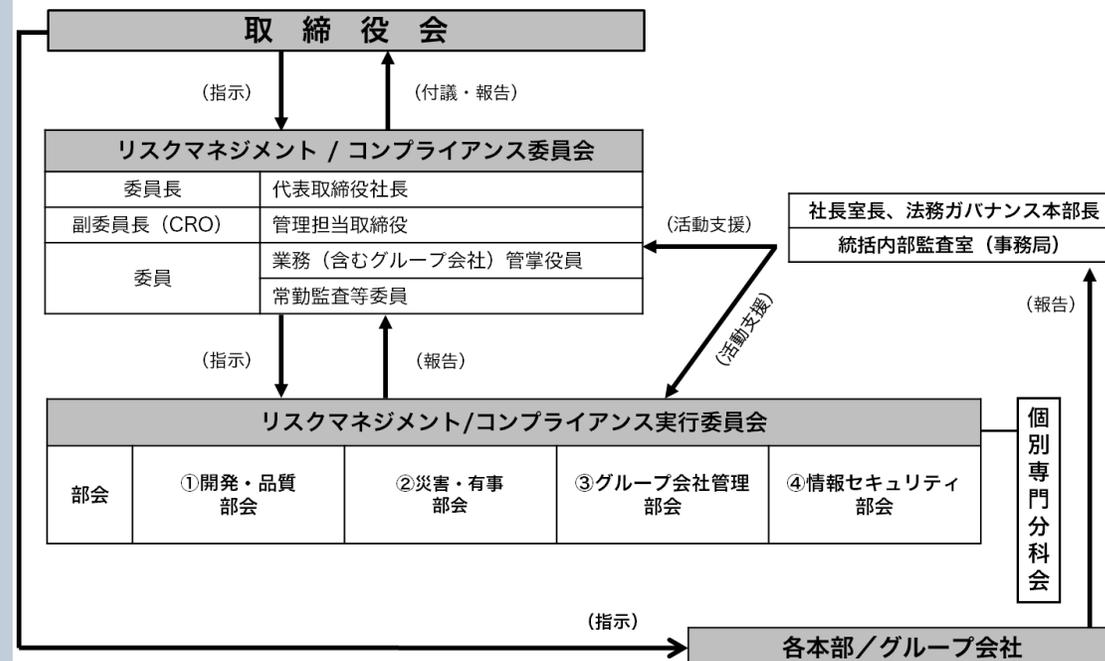
■ 意識喚起活動の実施

当社のコンプライアンス研修は、全社共通の階層別研修及び部門別の専門研修をそれぞれ毎年1回実施しております。その他、代表取締役社長をはじめ経営層からコンプライアンスメッセージを発信する機会を設定しております。

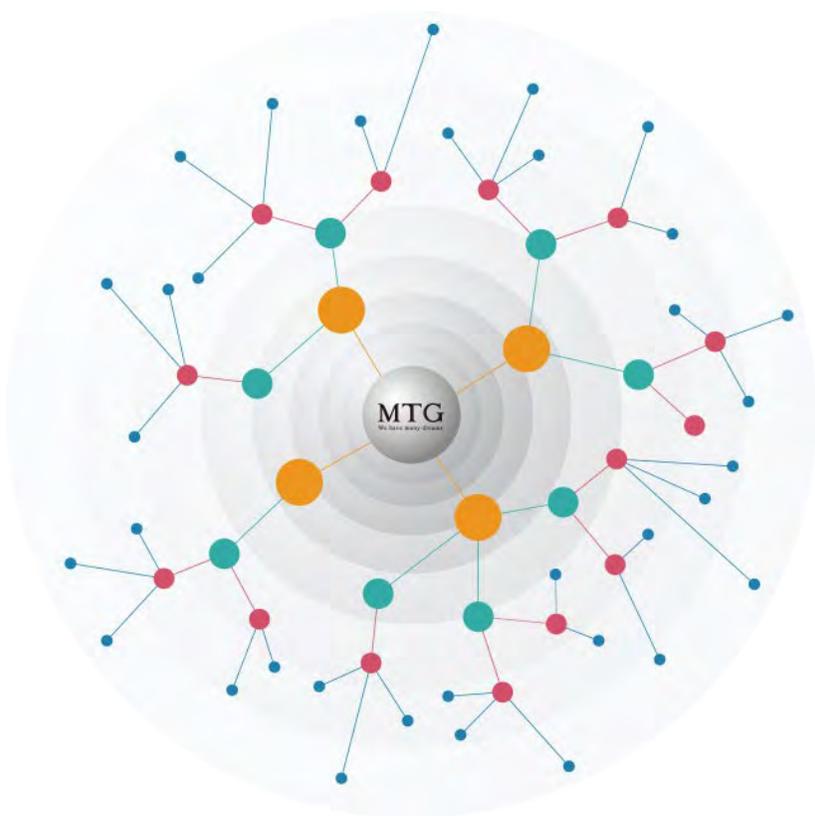
■ 組織活動の推進

当社は、リスクマネジメントとコンプライアンス活動を一体と考え、リスクマネジメント委員会とコンプライアンス委員会を両輪で推進し活動の強化を行っており、年度計画及び活動結果は取締役会へ報告しております。また、グループ共通の内部通報制度（Speak-Up制度）を構築し運用しており、社内及び社外それぞれ受付窓口を設置しております。

コンプライアンス推進体制図



仕組み グループ（ユニット）経営



》》 採算管理をベースに、持続的な企業価値の創造を推進

コーポレートガバナンスの目的は、持続可能な企業価値の創造にあります。そのためには内部活動としての経営管理が重要と考えられます。

当社における経営管理は、単にブランドカテゴリーや販売チャネルという区分にとどまりません。MTGグループ内の組織を**300超の経営ユニット**に分けて、各ユニットの売上・各経費・利益の採算管理をします。高い透明性と専門性を持つべく、財務経理部とは別の専門部署を設けて管理をしております。年次計画は、前年度の下期から**6か月かけて**、ユニット単位で何度も検討します。さらに、**年次業績の精度を高めるため、毎月2回全ユニットの予測値をアップデートし、進捗に応じた事業運営を行っております。**特に不採算ユニットについては、別途の検討会を設けて、収益構造の確認や課題の対処に取り組み、早期の採算化を図ります。

このような部門採算管理をベースに、事業ポートフォリオを確認し、投資モニタリング会議にて、投資の有効性や効率を管理しつつ、加えて、将来の新規開発や戦略展開、財務投資なども考慮して、**中長期を見据えた経営を行っております。**

そして、このような経営者意識を持ったユニットのリーダー（PCリーダー）を育成することが、将来の経営層人材の確保にもつながるとも考えています。

また今後は、経営変革のスピードに合わせたシステム導入等、検討してまいります。



戦略アクション	目標達成に向けたアクション	指標	17の目標	ESG対応
「一人ひかる」 従業員の素晴らしい人生の実現				
女性活躍、多様性の推進	働きやすい制度の整備と活躍機会の創出、やりがいのある職場環境を整備	女性管理職比率、男性育休取得率 障がい者雇用比率		S
人材育成とキャリア開発の実践	社員の自立的な能力開発を支援	—		S
経営者意識を持つ人材の育成	方針発表会・リーダー層向け勉強会の実施	—		S
健康経営の取り組み	心と体の疾病予防・早期発見・早期治療サポート	定期健診再検査対象者数、 ストレスチェック		S
「皆ひかる」 事業活動を通じた社会への貢献				
製品の品質と安全性の確保	品質向上と製品安全の確保に向けた活動を実践	—		S
人権の尊重	RSPOの活動支援、人権配慮資源の使用、責任ある調達	RSPO比率		S
健康で豊かな生活の実現	大学・企業・自治体と協力し、地域社会の健康向上支援	—		S
地域社会の活性化と伝統文化の保護・継承	漆、螺鈿、木、毛 / 寄付活動の実施 / 五島の椿	—		S
「何もかもひかる」 地球環境への配慮と保全				
地球環境の負荷軽減	温室効果ガス（Scope1,2）積極的削減への取り組み	二酸化炭素排出量（Scope1-3）		E
自然保護への取り組み	自社農園における椿の植栽による自然保護	椿の植栽本数		E
水資源の維持と保全	ファインバブルによる水資源の保全と排出量の削減	—		E
責任ある調達の推進	パーム油の方針	RSPO比率		E
持続的な成長を支える仕組みの構築				
コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス体制の強化	透明・公正かつ果敢な意思決定を行う仕組みを構築 コンプライアンス推進の風土醸成と体制の整備			G
部門採算を採用した経営方式の実践	採算管理をベースに、持続的な企業価値創造を推進			G